

受験で世界史を使う君へ

頑張れ♪世界史組通信 ①

42 回生、世界史担当の清水です。自宅学習が長引いていますが、皆と一緒に頑張ろう！さて、受験科目に世界史を想定している人へのメッセージです。まず今回は、世界史の勉強の仕方のヒントです。よく読んで下さいね。世界史の「理解」は、授業でやるとして、

みんなはまずこの期間に、「暗記」と「復習」に励もう！

なお、受験の世界史仲間に、この通信の存在をぜひ広めて下さい **Ne!**

①世界史の暗記は **アウトプット** が大事

インプット=教科書を読む、覚える、資料集を眺める等をしたら、**必ずアウトプット=問題を解いてみる、一問一答をやる、問題を出し合いする等をして下さい。**

ポイント1 インプットした日の何日か後にやると、脳みそ君は「**長期記憶したいんやね**」と思ってくれます。これを繰り返しましょう。

例) 今日、5 ページ覚えた。次の日、次の 5 ページを覚えた。3 日目、新しい 5 ページを覚えた。この日に、初日の暗記分をアウトプットする。4 日目、さらに次の 5 ページを覚えるとともに、2 日目のアウトプット...という手順

ポイント2 大きい範囲を一度に覚えようとする続きません。

年内にすべての範囲を終えられるよう計画を立てて、少しずつやっっていこう。

②世界史は **目にした回数** で勝負

定期考査と違って、直前の詰め込み、一夜漬けは絶対に通用しません。**受験で役立つ長期記憶**にするためには、やはりシンプルに「**何度も見る」「何度も思い出す**」ことが**最も有効**です。特効薬はない。地道にやる。それがロマンです。

③推薦の結果後 = **秋以降では必ず手遅れ** になる

考えたくありませんが、推薦で落ちると立ち直りに1か月ほどかかります。その後、**秋が深まってからやっと本気になって勉強を始めて後悔した人**をたくさん知っています。「**推薦等で合格できたらラッキー!**」と思って、一般受験のつもりで**準備**しましょう。準備が早すぎて後悔した人に会ったことはありません。「大航海時代」は世界を変えましたが、「大後悔時代」は失うものがあまりに大きいです。

受験はもう始まっています。あなたは今「テスト直前」の状況です。いい意味で焦りましょう。

困ったり、迷ったりしたら、学校に電話してきてくださいね。来春、一緒に笑おう(^^♪